

「耐震等級3」＝「地震に強い家」?

高知県では86%の人が地震への備えを考えています。
近年、家づくりに重要な耐震性の指標である「耐震等級」という言葉がよく聞かれますが、耐震等級3＝地震に強い家でしょうか。地震に強い家を作るために大切な事を分かりやすくお話しするセミナーを開催します。この機会にぜひお越しください。



2/24

月・振

「本当に強い木の家 これからの耐震構造」

参加無料

◎時間/13:30～15:00 ◎場所/ちより街テラス 会議室4

セミナー内容

- ◎地震のリスクと耐震等級の落とし穴
- ◎仕様規定耐震等級と許容応力度計算耐震等級の耐震性能について
- ◎建築版インフォームドコンセントとは?
- ◎倒壊0棟/21,840棟*の実績 **SE構法** ※(株)エヌ・シー・エヌ調べ
- ◎既存住宅の耐震化 居室単位の“木質耐震シェルター”のご案内



WOOD CRAFT WORKS

株式会社 滝石建設

高知市仲田町14-8 TEL:088-831-1283 FAX:088-831-3173

耐震構法
SE構法

阪神淡路大震災における死者の九割は住宅が原因でした。旧耐震住宅の倒壊により、本来命を守るべき自宅が凶器となってしまったのです。東日本大震災を経験した今日でも日本の住宅の耐震化は進んでいません。
旧耐震基準の住宅はまだ約二千万戸あり、そこに住んでいるのはおよそ二千万人。この旧耐震住宅を新たな耐震基準の住宅に変えれば、そのうち九割の命が救えます。しかし残念ながら、この事実はまだあまり知られていません。政府は旧耐震住宅を減らす国土強靱化政策を進めています。また、その認知度、浸透度は低いのが現状です。地震による倒壊がこれまで一度もない「SE構法」を扱う私たちは、地震国日本を安全・安心に暮らすために、耐震住宅を「棟でも多く増やし、やがてはすべての家を地震に強い家にしていく」「耐震住宅100%」キャンペーンを始めます。

